

私は8月3日から24日までの4週間、UCL-Japan Youth Challengeに参加しました。このプログラムでは全て英語で行われ、毎週火曜日に日本とイギリスの高校生の参加者全員がzoomで集まり、第1週はintroduction、第2週はacademic lecture、第3週はUCL grand challenge workshop、第4週はpresentation & final ceremonyがあり、その他の平日には様々な講義がありました。

第1週のintroductionでは、このプログラムの詳しい説明がされました。

第2週のacademic lectureや他の日の講義では、日本文化やアニメーションに関するものから、UCL (University College London)の教授の研究に関するものまであり、たくさんの知識を得ることが出来ました。講義は全て英語なので、聞き取るのが難しく、理解が追いつかない時もありましたが、リスニング力は少し向上したように思います。私が一番印象に残った講義は、海外の大学で医学を学ぶことについての講義です。この講義をしてくださった方は、今UCL medical schoolに通っており、この学校についてたくさんお話ししてくださいました。もちろん日本の学校でも医学を学ぶことはできますが、このUCL medical schoolには世界中のから留学生がやって来るため、日本で学ぶよりも広い視野で物事を見たり、自分とは違う考え方を知ったりすることが出来ます。また、研修で行く病院に入院している患者さんもさまざまな人種の人がいるため、文化や宗教の違いにも配慮しなければならず、より一人一人の患者にあったヘルスケアを行う力を身につけられると思いました。加えてイギリスで医師免許等を取得することになるため、海外で働きやすいのもメリットの1つです。私は海外で働くことや医学に興味があるので、そういう選択肢もあるということを入れて自分の将来について考えたいと思いました。

また、講義を受けていて驚いたことがあります。それは講義に参加している高校生が積極的に質問をしたり、自分の意見を教授にぶつけたりしていたところです。今までに海外の生徒は積極的に質問をするというのは聞いたことがありましたが、初めてその光景を目の当たりにしてびっくりしました。講義の途中でもチャットで質問があったりしましたが、講義をしているイギリスの方も驚くことなく話を止めて質問に答えていたので、海外ではこれが普通なんだと実感しました。自分と同じ高校生が、気になるところはとことん質問して学んだことを最大限自分の知識として身につけようとしている姿は、とても刺激になりました。

第3週のUCL grand challenge workshopとその後の3日間は少人数グループに分かれ、このプログラムの今年のテーマ「Art and Design for Sustainable Future」の関連し、2050年の学校について考えました。workshopで、私たちのグループは4人グループで学校行事について個々のアイデアを出し合い、2つの行事を考えました。私は英語で話し合いをするのは初めてだったので緊張したものの、勇気を出して自分のアイデアや意見を言うことが出来ました。その後の3日間では10数人のグループになって前日のグループで出た案から新たにアイデアを考え、最終日に行うプレゼンに向けて準備を進めました。私たちのグループではARを使ったAR space sports dayとAR tourismという学校行事をデザインすることにしました。ここからさらに案を

具体化するため、意見を出し合っていくのですが、私は話し始めるタイミングが分からず、なかなか意見を言うことが出来ませんでした。ファシリテーターに指名されて何度か意見を伝えることが出来ましたが、積極的に意見を言えなかったのが悔しかったです。同じグループの中には同級生の日本人の子が積極的に話していて、私も自分から意見を言えるようになりたいと思いました。

第4週の presentation & final ceremony でグループごとに2050年の学校についてプレゼンを行いました。どのグループの発表もアイデアがクリエイティブで聞いていてワクワクしました。私が発表を見て思ったことは、どのアイデアもとても綿密に考えられていたところです。例えば環境に配慮した木造の学校や、持続可能な未来を実現するためのカリキュラムなどの、世界の問題を解決するためのアイデアだけでなく、ロボットを用いた生徒のメンタルケアや、VRを使ったイベントなどの科学技術を活用して、生徒が快適な学校生活を送れるよう工夫したものもありました。またコストや考えられる課題を克服できるように考えられており、将来実現しそうなものばかりでした。

このプログラムに参加してよかったことは、新しい形で英語を学べたことです。普段の英語の授業では読むことがメインですが、話すこと、聞くことが多かったので、スピーキング力やリスニング力が向上したように思います。また、授業で習わない英語のカジュアルな表現や文法も学ぶことが出来ました。一方で講義の内容が分からなかったり、日本人の子が英語をスラスラ話しているのを見て、自分がまだまだ勉強不足だということを痛感しました。これからは、このプログラムで学んだこと、感じたことを忘れず、将来に向けてもっともっと自分の英語力や積極性を磨いていきたいです。